



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

# 大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

めざせ！全国・関東力の限り！！  
～頑張れ、チーム大久保中～

校長 澤田純一

学校総合体育大会の時期がやってきました。私は、この大会が大好きです。それは、生徒の皆さんが日頃から汗を流し、心を磨き、技を練り、その集大成が見られるからです。そして、個人競技でも団体競技でも心一つにして、全力で戦っている姿は何物にも代えがたいと感じているからです。

さて、私も長い間、剣道部の顧問をしておりました。様々な生徒と巡り合え、共に稽古をすることができたことをうれしく思っています。顧問としては、頑張った生徒のおかげで県大会にも関東大会にも出場させてもらいました。そして、それらの経験から分かったことは「強いチームには必ず法則がある。」ということです。それは、試合に出ない生徒（補欠や応援生徒）が一所懸命に練習しているチームは強いチームであるという事です。かつて、私が顧問をしているチームに、こんな生徒がいました。仮にA君としましょう。A君は他の学校の剣道部であれば、レギュラーを獲得できるくらいの実力がありましたが、A君は残念ながら3年生最後の学校総合体育大会で補欠になってしまいました。しかし、A君は、部活での練習を人一倍こなし、帰宅した後も道場に通り、家の庭で素振りをしていました。試合の前日に、私はA君に今日まで全力で取り組んでいることへの感謝の気持ちを伝えました。するとA君は「僕は補欠ですが、もしも選手の誰かが怪我をして出場できなくなった時、いつでも力を発揮できるように準備をしています。なので、部活でも家でも、みんなの力になれるよう努力してきました。」と笑顔で私に話してくれました。私は、こんなにも補欠選手の言葉で胸が熱くなったことはありません。そして、この時の剣道部は、市大会を接戦で勝ち抜き、県大会に出場しました。そして県大会でも一戦一戦を競り勝ち、関東大会出場の切符を手に入れました。私も選手も、そしてA君も涙が止まらなかったのを覚えています。

私の書斎には、当時の関東大会のパネルが飾ってあります。千葉ポートアリーナを埼玉県代表チームとして入場行進をしている写真です。そこには、補欠で頑張っていたA君の姿もあり、堂々と入場行進をしている姿が写っています。そして、この写真は私の人生にとってかけがえのない大切な宝物となりました。

学校総合体育大会に出場するにあたり、レギュラーか補欠か、または応援者か、そんなことは関係ありません。それより、一人ひとりが自分の役割を果たし、チーム一丸となって戦うことが大切であると私は思うのです。

「チーム大久保中」、皆さんの熱戦を期待しています。

保護者の皆様、日頃より本校の部活動に御理解、御協力を賜りましてありがとうございます。大会中、校長と教頭が分担し、各会場に応援と激励に駆けつけますので、よろしくお願い申し上げます。